



文化の花咲く 3つの博物館

飛鳥山は江戸時代中期、徳川吉宗が行楽地として庶民に開放したのが始まりで、明治6年(1873)、上野などとともに日本最初の公園に指定された。約650本の桜やツツジ、アジサイが植えられ、いまも憩いの場となっている。(飛鳥山3つの博物館)紙の博物館・北区飛鳥山博物館・渋沢史料館では、それぞれ特色ある展示が楽しめる。JR王子駅中央口から山頂を結ぶモノレール「アスカルゴ」もオススメ。



田端といえば…

◆近代日本文学界の寵児・芥川龍之介
東京帝国大学在学中の大正3年(1914)から昭和2年(1927)に35歳で亡くなるまで、13年近くのほとんどを田端で暮らし、数々の代表作を執筆した。たぐいまれな才気と下町育ちの世話好きな性格は多くの人を惹きつけ、田端文士村の中心人物として大きな役割を果たしたが、「唯ぼんやりした不安」という言葉を遺し、田端の家で自らの命を絶った。現在、この旧居跡に芥川龍之介の業績を単独で顕彰する施設として日本初となる「(仮称)芥川龍之介記念館」の開設に向け準備中!

◆100人以上の文芸芸術家が暮らした田端

明治中期まで田端は閑静な農村であったが、上野に東京美術学校が開校し、田端駅開業で交通の便が整ったことで芸術家たちが田端に集った。画家・小杉放庵、陶芸家・板谷波山が草分けとして転入、画家の社交場「ポプラ倶楽部」も誕生するなど、田端はさながら「芸術家村」であった。やがて大正期には、小説家・芥川龍之介、詩人・室生犀星も田端に暮らし始める。文壇に華々しく登場した2人を中心に友人、後輩が集まり田端は「文芸芸術家村」となった。



飛鳥山といえば…

◆近代日本資本主義の父・渋沢栄一

明治12年(1879)、渋沢は創業に尽力した王子製紙の工場を見渡せる飛鳥山に邸を構えた。当初は内外の賓客を招く別荘として、明治34年から亡くなる昭和6年(1931)までは家族と過ごす自邸として使用していた。栄一は約30年間「愛依村荘」とも呼ばれた自邸で暮らし同地をこよなく愛した。

◆邸内に現存する渋沢のおもかげ

飛鳥山公園の一角にある旧渋沢邸は、本邸の他、茶室などの建物があつたが、昭和20年(1945)の空襲で焼失、大正6年(1917)竣工の「晩香廬」と大正14年竣工の「青淵文庫」のみ、「旧渋沢庭園」内に現存し昔のおもかげを留めている。大正7年11月3日、栄一は、滝野川町在住者を飛鳥山の邸内に招いて園遊会を開催した。画家・小杉放庵、山田敬中、小山栄達、彫刻家・北村四海、陶芸家・板谷波山といった田端芸術家が出席した。



国の名勝 旧古河庭園

◆大正時代にタイムトリップできる庭園

大正6年(1917)、古河虎之助が本邸として使用した洋館と庭園が現存する。本邸の建物と洋風庭園はJ.コンドルが設計、日本庭園は京都の庭師、小川治兵衛が作庭。建物も庭園も竣工当時の姿を保存している極めて貴重な事例として、国の名勝に指定されている。

◆渋沢栄一と古河虎之助

慶長9年(1604)、幕府は諸街道を整備して飛鳥山からほど近い西ヶ原に一里塚を設けた。大正5年(1916)、道路改修工事にともない撤去されそうになったが、実業家の渋沢栄一を中心とする地元住民の運動、古河家当主・古河虎之助等の寄付金などにより塚の保存に成功した。大正11年(1922)には、国史跡に指定。



M文化ROAD

飛鳥山、田端

近代日本の偉人の暮らしたまち北区東京
渋沢栄一、芥川龍之介の旧居を結ぶ道

お願い
散策は大切な方と少人数で楽しみましょう。マスクの着用、屋内での会話は最小限に。

便利なKバス
100円でこのエリアを回る2路線の「Kバス」を使うと移動が便利です。
地図中の◀はバス停の位置と方向を示します。
◀…王子・駒込ルート
◀…田端循環ルート

©Mie Takahashi 2021
※イラストの無断使用を禁ず。



国立印刷局 東京工場



日本銀行券や収入印紙、証券類のほか、官報や国会会議録などを製造。お札の製造現場を見学できます。VR展示室も必見!

MAP 沢-1
見学日は火・木(予約制)
☎ 03-5567-1102

旧醸造試験所 第一工場



明治政府が設立した酒造りに関する研究施設として使われていた。団体見学を受け入れてます(要予約)。

MAP 沢-1
☎ 03-3910-3853
10~25名の団体は見学予約可。

お札と切手の博物館



国立印刷局が製造したお札、切手など様々な資料を展示。お札の歴史や偽造防止技術などを知ることができます。

MAP 沢-1
☎ 9:30~17:00
月(祝日の場合は開館、翌平日休)、臨時休館日、年末年始
☎ 03-5390-5194

(仮称)彫刻アトリエ館



長崎平和祈念像の作者で文化勲章を受賞した彫刻家・北村西堂と、その長男で芸術院会員の彫刻家・治禎の旧アトリエ。数々の名作がこの地から誕生しました。

MAP 沢-2
☎ 03-6338-5711
1年1回の公開見学会、通年で彫刻教室を開講(要問合せ)

渋沢史料館

渋沢栄一の旧邸宅跡に建ち、栄一の生涯と業績を広く紹介する博物館。栄一に関する資料を収蔵・展示し、関連イベント等も随時開催。旧渋沢庭園に残る大正建築「晩香廬」「青淵文庫」の内部公開も行っています。

MAP 沢-1
☎ 渋沢史料館のウェブサイトでご確認ください。
☎ 03-3910-0005



▲洋風茶室の晩香廬

紙の博物館

渋沢栄一の提唱で始まった日本の洋紙産業。その「洋紙発祥の地・王子」に設立された、紙専門の博物館です。2020年に創立70周年を迎え、常設展示を「紙と産業」「紙の教室」「和紙と文化」としてリニューアル。映像や解説アプリを導入し、身近な「紙」をわかりやすく紹介しています。人気の「紙すき教室」をはじめ、紙関連の展示やイベントも随時開催。

MAP 沢-1
☎ 10:00~17:00 (入館は16:30まで)
月(祝日の場合は火・水)、祝日直後の平日、年末年始、臨時休館日
☎ 03-3916-2320



▲「飛鳥園遊覧之図」明治天皇の製紙工場への行幸を描いた銅絵

目で見る文化ロード

コロナ禍により営業時間・定休日に変更している場合がございます。訪問前に記載のQRコードなどで最新情報をご確認ください。



田端文士村記念館



◀若かりし日の芥川龍之介

芥川龍之介、室生犀星、板谷波山など田端ゆかりの文芸家作品や資料を展示し、その業績や暮らしを紹介しています。散策・講演会等のイベントも随時開催。田端駅より徒歩2分の入館無料の記念館です。

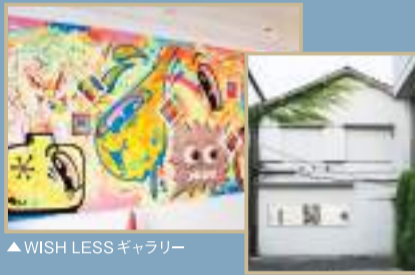
MAP 川-2
☎ 10:00~17:00 (入館は16:30まで)
月(祝日の場合は火・水)、祝日の翌日(土・日の場合は、翌週火、年末年始(12月29日~1月3日)、臨時休館日
☎ 03-5685-5171



◀芥川龍之介「續文藝的な、余りに文藝的な」原稿

現代アート

アート好きなら抑えておきたい小規模ながら充実のギャラリー



KAYOKOYUKI

古い倉庫をリノベした大きな窓のある白い建物。多彩な展覧会やイベントを開催。

MAP 沢-2
月・火・祝
☎ 03-6873-6306

駒込倉庫 Komagome SOKO

2階建ての建物は倉庫兼展示室。実験的な催し力を入れています。

MAP 沢-2
不定期休

KOMAGOME 1-14cas

美術館等の空間づくりを手がける東京スタジオが本社に開いたアートスタジオ。

MAP 芥-2
不定期休
☎ 03-3946-3481

WISH LESS ギャラリー

お洒落な雑貨店のような外観。アート作品、雑貨などを販売し、個展も開催。

MAP 芥-2
月・火・水
☎ 03-5809-0696

グルメ de 食文化

長年地元で愛される老舗から新鋭の人気店まで、選りすぐりの美味を一挙紹介!

宝泉

常連に嗜家さんが多い大衆酒場。生ホッピー、やわりめ(柔らかいあたりめ)が名物です。
MAP 沢-1 日・祝 ☎ 03-3914-2726

百塔珈琲 霜降店

自家焙煎コーヒー豆の販売。店名は、店主が好きな街プラハ(チェコ)の愛称「百塔の町」から。近くに本店もあり。
MAP 沢-2 不定期休 ☎ 03-6903-4653

浅野屋

人気は天ぷらそば。店主は鉄道ファンで、息子さんはアニメやゲームに登場する「芥川龍之介」のキャラがお好き。店内にはグッズも。
MAP 芥-2 日・祝 ☎ 03-3821-1107

御菓子司 中里

明治6年創業。駒込で大正12年より営業。香ばしい「揚げ最中」、胡麻が香る「南蛮焼」が名物。
MAP 芥-2 日 ☎ 03-3823-2571

とんき

とんかつ専門店。コクがありながらさくっと軽い衣が特徴。この衣に包まれた肉はしっとり柔らか。
MAP 芥-2 木・第三水 ☎ 03-3949-7387

トラットリア ラバデッラ

自家製ソーセージや窯焼きピッツァ、手打ちパスタなど本格的なイタリアンをお手頃価格で。
MAP 芥-2 水 ☎ 03-5981-8794

cocofulu café

旧古河庭園そばにある、チーズケーキが人気のカフェ。サンドイッチやキッシュなど食事メニューも。
MAP 沢-2 日 ☎ 03-5980-8410

関の甘納豆

創業90年の甘納豆専門店。北海道産大納言など、こだわりの素材で丁寧に仕上げた上品な甘さはやみつきに。お土産にぴったり。
MAP 沢-1 木 ☎ 03-3910-2693

扇屋

1648年創業の老舗。名物の厚焼き玉子はほんのり甘じゅー。秘伝のダシがうまさの秘訣。
MAP 沢-1 水・土(不定休) ☎ 03-3907-2567

炒め処 寅蔵

店名のとおり炒め物に自信あり。他にも四川担々麺や餃子などどれも丁寧に作られていて美味しい。
MAP 沢-2 水 ☎ 03-3910-7020

萬盛庵

入口の狸の置き物が目印の、地元で愛される店。そば、天ぷら、丼もの全て安定したおいしさ。
MAP 芥-2 水 ☎ 03-3910-5746

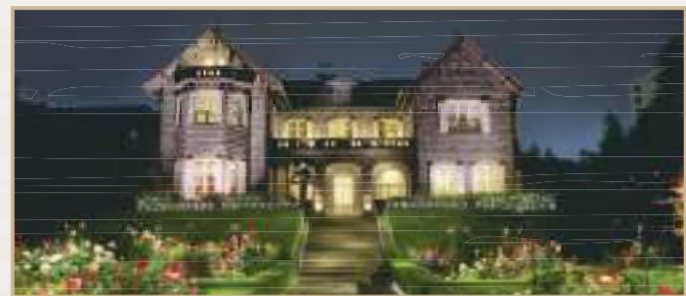
タバタバ

ウェブマガジン「TABATIME」編集長の運営する立ち飲み屋。名物の生レモンサワーを片手に、田端の最新情報を語り合うのが通。
MAP 川-1 日・祝

旧古河庭園

武蔵野台地の地形を生かし、台地上に洋館と洋風庭園、低地に日本庭園が展開する。和と洋が調和する大正期の名園です。春と秋に咲くバラと11月から12月にかけて色づく紅葉が見どころ。国指定名勝。

MAP 沢-2
☎ 9:00~17:00 (入館は16:30まで)
年末年始(12月29日~1月1日)、臨時休園日
☎ 03-3910-0394
1 イベント開催期間及びGWなどで休園日開園や時間延長の場合あり。



劇団文化座

1942年結成。戦争と日本人、市井の人々などを丁寧に描く作品を上演し続けています。
MAP 芥-2 不定期休 ☎ 03-3828-2216

防災センター(地震の科学館)

展示や地震体験などにより防災の大切さを伝える施設。災害時は情報収集などの役割を果たします。
MAP 沢-2 9:00~17:00 月(祝日の場合は翌平日・祝土の場合)は開館・年末年始 ☎ 03-3940-1811

シネマ・チュブキ・タバタ

目・耳が不自由な方、車椅子の方なども映画を楽しめる設備を有するユニバーサルシアターです。席数を減らして15席で営業中。
MAP 水 川-2 ☎ 03-6240-8480 1 予約推奨(予約サイト、電話、店舗で受付)

5つの研究所

アートから食まで、このエリアに点在するさまざまなジャンルの「研究所」にも注目!

奈良光シルクスクリーン研究所

Tシャツなどの布製品にプリントする工房です。多彩なデザインに対応でき、主にミュージシャンからの信頼が厚いです。
MAP 不定期休 川-2 ☎ ekahikharu@gmail.com

示現会絵画研究所

油彩・水彩の初心者や、さらに上達を目指す人向けの教室を開講しています。料金は1コマ2,000円。
MAP 芥-2 ☎ 03-3824-9128 1 絵画教室は水・木休

絵地図創造研究所

全国250カ所の絵地図を描いた絵地図の第一人者が、まちづくりやアートの側面からも絵地図を制作し、ワークショップも行なっています。
MAP 芥-2 水無休(要予約) ☎ 03-5834-0357

榎本ハンバーグ研究所

ハンバーグ好きの店主が開発した400近いレシピから厳選メニューを、焼き方にもこだわって提供。
MAP 沢-2 不定期休 ☎ 03-3910-7020

さとみや豆腐研究所

豆腐や油揚げ、がんもなど豊富な品揃えで目移りしそう。豆腐は絹ごし、木綿のほか、ざる豆腐が人気の逸品。
MAP 芥-2 日・祝 ☎ 03-3828-3072

スマホを使って絵地図上を歩けるアプリ『ambula map』でさらに北区を楽しもう!

アプリのダウンロードはこちらから
App Store からダウンロード Google Play でお持ち込み
よりダウンロードできます。

発行/2022年4月(第2版)
企画・編集・発行/文化ロードマップ実行委員会(紙の博物館、北区飛鳥山博物館、旧古河庭園、渋沢史料館、田端文士村記念館)
お問合せ/電話:03-5685-5171 (公財)北区文化振興財団 田端文士村記念館 東京都北区田端6-1-2
制作/高橋デザイン室・(株)ZUGA 絵地図/高橋美江
※本紙の掲載情報は発行日現在のものです。※本紙の無断転用・使用は禁止します。
※写真提供 表紙・芥川龍之介/国立国会図書館、表紙を含む全ての渋沢栄一関連/渋沢史料館